

山内 昇 (大同大学)

yamanobo@daido-it.ac.jp

1. はじめに

- (1) ϕ_i タンスにしまっておいたよ, 靴下なら_{io}.
- (2) a. 靴下なら タンスにしまっておいたよ, 黒い靴下なら.
b. 靴下なら タンスに しまっておいたよ, 三段目の引き出しに.
- (3) **言い換え型右方転位構文:**
[... 先行要素 ...] 転位要素/後置要素
- (4) **問題提起:**
言い換え型における可能な言い換えはどのように決まるのか。
- (5) **本研究の主張:**
言い換え型における可能な言い換えは, 先行要素から補足情報として想起される事柄と転位要素との間に同一指示的な関係が成立する場合に限られる。

2. 言い換え型の位置付け

- (6) a. 「補充表現」(宮地 1984)
b. 「後置文」(久野 1978); 「右方転位」(西光 1979); 「言い換え後置」(富樫 2000)
- (7) “(i) extra-clausal position of a constituent, (ii) possible alternative intra-clausal position, (iii) pronominal coindexation, (iv) special prosody. These four criteria apply in prototypical instances. However, there are many instances in which one or more of them fail to apply. Only criterion (i) is a necessary (though not sufficient) condition for a sentence construction to qualify as an instance of dislocation.”
(Lambrecht 2001: 1050)
- ① 転位要素は節外の位置を占める。[必要条件]
- ② 節内に対応する位置がある。
- ③ 対応する位置に転位要素を同一指示する代名詞類が生起する。
- ④ 特殊な韻律が見られる (右方転位要素は韻律的に卓立しない)。
- (8) 言い換え型は, ③の基準を満たさない分だけ典型性が落ちるが, 右方転位構文の一種として認定できる。

3. 先行研究の概観：富樫（2000）の分析

3.1. 指示の同一性

(9) 先行要素—後置要素間の「指示の同一性」は確保されなければならない。（富樫 2000：20）

- (10) a. * 田中さんが殺ったんじゃない？鈴木さんが。
b. * 東京は住むところじゃないよ，茨城は。
c. * あそこは住むところじゃないよ，ここは。 (ibid.: 14)

- (11) a. あの人が殺ったんじゃない？田中さんが。
b. 田中さんが殺ったんじゃない？あの人が。
c. 東京は住むところじゃないよ，あそこは。 (ibid.: 14-15)

3.2. 情報限定

(12) 後置要素は何らかの形で先行要素よりも「限定」された表現になってもよい。しかし，先行要素の方がより「限定」されている場合には許容されない。（ibid.: 20）

- (13) a. ゴルフクラブで殴られちゃったんだよ，アイアンで。
b. 犯人らしき奴なら車に乗って行っちゃったよ，タクシーに。
c. 太郎ったら電話で用件済まそうとしてるの，携帯で。
d. ゴルフクラブで殴られちゃったんだよ，ヘッドの部分で。 (ibid.: 16)

- (14) a. ?? アイアンで殴られちゃったんだよ，ゴルフクラブで。
b. ?? 犯人らしき奴ならタクシーに乗って行っちゃったよ，車に。
c. ?? 太郎ったら携帯で用件済まそうとしてるの，電話で。
d. ?? ヘッドの部分で殴られちゃったんだよ，ゴルフクラブで。 (ibid.)

(※文脈上より詳細と判断されれば容認される場合もある)

3.3. 情報構造の一致

(15) 「情報構造」という要素が持つ情報の枠組みを一致させなければならない。（ibid.: 20）

(※情報構造→先行要素と後置要素の情報に認められる曖昧性)

- (16) a. その辺にいると思うよ，隣の部屋とかに。
b. 何人か呼んできてよ，3人ほど。
c. そのうち来るんじゃない？明日あたり。 (ibid.: 18)

- (17) a. * その辺にいると思うよ，隣の部屋に。
b. * 何人か呼んできてよ，3人。
c. * そのうち来るんじゃない？明日。 (ibid.: 19)

4. さらなるデータ

4.1. 先行要素が表す情報の方が意味関係上より限定されている事例

- (18) a. 昨日エアフォースワンを買ったんだ、スニーカーを。
b. 昨日スニーカーを買ったんだ、エアフォースワンを。
- (19) a. 昨日駅で阿部寛に会ったんだ、俳優に。
b. 昨日駅で俳優に会ったんだ、阿部寛に。
- (20) 上述の「情報的限定」に基づく、(18a)と(19a)は、意味関係上は先行要素の方がより限定された情報を表しているが、文脈上は転位要素の方がより限定された情報を表しているため、容認されるという説明になる。しかし、転位要素が先行要素の補足として機能していれば、容認されると考えることもできる。

4.2. 転位要素の方がより限定された情報を表していても容認されない事例

- (21) a. 太郎が車を壊したらしいよ、エンジンを/ブレーキを/ハンドルを。
b. ^{??} 太郎が車を壊したらしいよ、室内灯を/エアコンを。
c. * 太郎が車を壊したらしいよ、ステレオを。
- (22) a. 昨日お金を拾ったんだ、10円玉を/100円玉を/500円玉を。
b. * 昨日お金を拾ったんだ、一円札を/小判を/和同開珎を。
- (23) 上述の「情報的限定」に従うと、転位要素の方がより限定された情報を表す場合には、容認可能になるはずである。(21b/c)と(22b)は転位要素が先行要素の補足として機能していないため、容認性が落ちると考えられる。

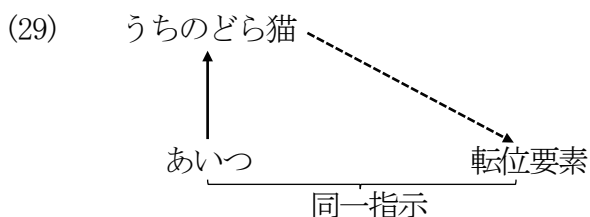
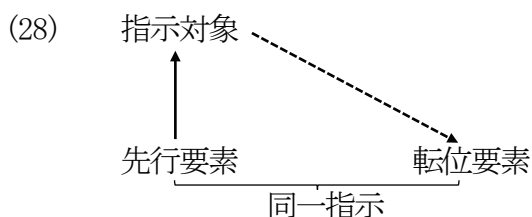
4.3. 曖昧性を持つ先行要素が複数個の転位要素に言い換えられる事例

- (24) a. * テレビのリモコンならその辺にあると思うよ、机の下に。
b. テレビのリモコンならその辺にあると思うよ、机の下とかに。
c. テレビのリモコンならその辺にあると思うよ、机の下か、椅子の上か、新聞の下に。
- (25) a. 人手が足りないから、裏から何人か呼んできてよ。2人か、3人か、(もしくは) 4人。
b. 手紙ならそのうち届くんじゃない? 明日か、明後日か、(もしかしたら) 来週。
c. 今日中に旅行に持っていくものを揃えないとね、着替えに、歯ブラシに、タオルを。
- (26) 転位要素の数を増やせば容認性が上がるという点を踏まえると、(24a)は、転位要素が先行要素の補足としては情報量が足りないため、容認性が低下するのではないかと考えられる。

5. 発話制約再考

5.1. 右方転位構文における同一指示性

(27) あいつはどこかに行ってしまったよ, うちのどら猫は。 (井上 1978: 98)

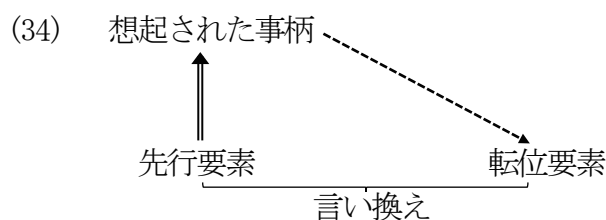
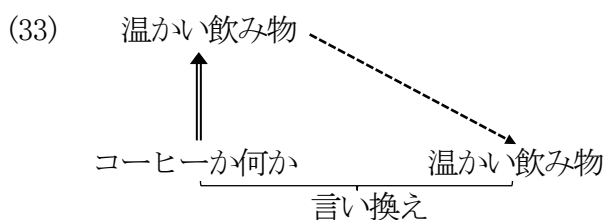


(30) 右方転位構文では、先行要素と転位要素との間に同一指示的な関係が成立する。

5.2. 言い換え型における同一指示性の確保

(31) コーヒーか何かを飲みませんか, 温かい飲み物を。 (野呂 2013: 423, (26) を一部修正)

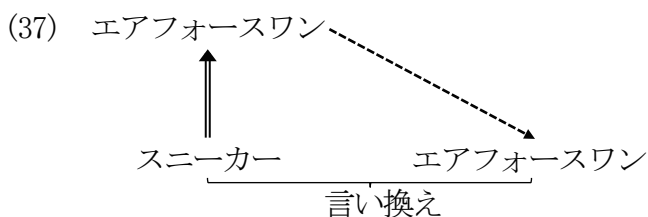
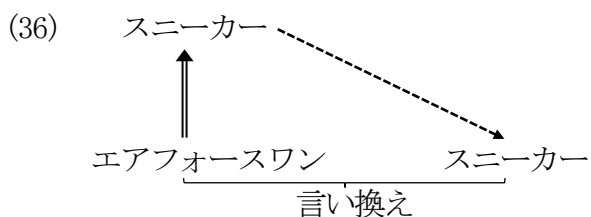
(32) 「Aか何か」は、先行要素Aが示す事物と「何か」が示す不定の事物を単に並列させるだけではなく、両者に共通するカテゴリーを想起させる働きを持つ。 (野呂 2013: 420)



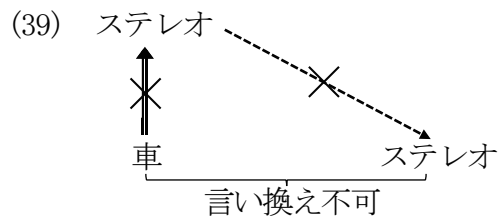
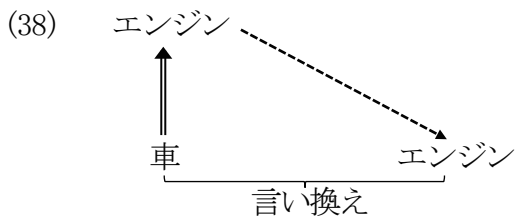
(35) 言い換え型では、先行節内の先行要素から補足情報として想起された事柄と転位要素との間に同一指示的な関係が成立する。

5.3. 言い換え型における言い換えのメカニズム

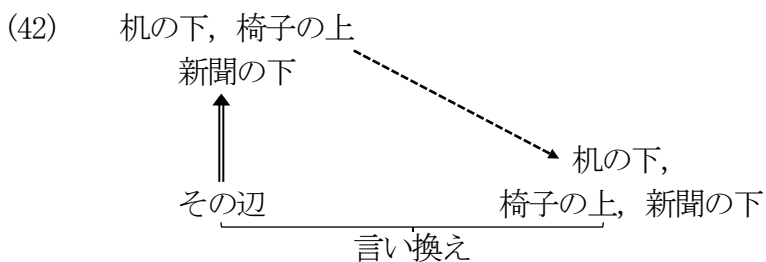
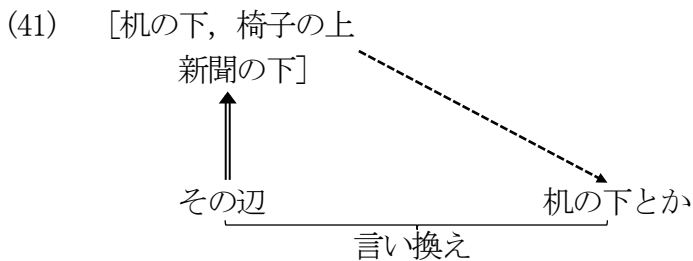
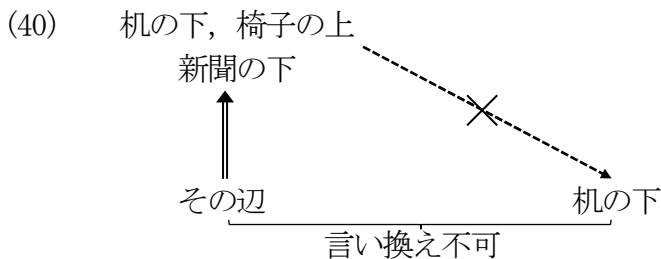
- (18') a. 昨日エアフォースワンを買ったんだ, スニーカーを。
b. 昨日スニーカーを買ったんだ, エアフォースワンを。



- (21') a. 太郎が車を壊したらしいよ、エンジンを/ブレーキを/ハンドルを。
 b. ^{??} 太郎が車を壊したらしいよ、室内灯を/エアコンを。
 c. * 太郎が車を壊したらしいよ、ステレオを。



- (24') a. * テレビのリモコンならその辺にあると思うよ、机の下に。
 b. テレビのリモコンならその辺にあると思うよ、机の下とかに。
 c. テレビのリモコンならその辺にあると思うよ、机の下か、椅子の上か、新聞の下に。



- (5) 言い換え型における可能な言い換えは、先行要素から補足情報として想起される事柄と転位要素との間に同一指示的な関係が成立する場合に限られる。

- (43) a. 昨日スイカを食べたんだよ, 黄色いスイカを。
b. * 昨日黄色いスイカを食べたんだよ, スイカを。
- (44) a. * 昨日財布を拾ったんだ, お金を。
b. * 昨日お金を拾ったんだ, 財布を。
c. 昨日財布を拾ったんだ, 長財布を。
d. 昨日お金を拾ったんだ, 100 円玉を。

6. おわりに

- (45) **今後の課題：**
- a. 想起の過程を明示化する必要性
b. 転位要素が表す情報の重要度 (久野 1978; 高見 1995 参照)
c. 言い換え表現のルビ化 (例：あの人 《一郎さん》, 一郎さん 《あの人》)

参考文献

- 井上和子 (1978) 『日本語の文法規則』 東京：大修館書店。
久野暲 (1978) 『談話の文法』 東京：大修館書店。
Lambrecht, Knud (2001) Dislocation. In: Martin Haspelmath, Ekkehard König, Wulf Oesterreicher and Wolfgang Raible (eds.) *Language Typology and Language Universals*, Volume 2, 1050-1078. Berlin and New York: Walter de Gruyter.
宮地祐 (1984) 「倒置考」『日本語学』3(8): 75-86.
西光義弘 (1979) 「咲いた, 咲いた, チューリップの花が」林栄一教授還暦記念論文集刊行委員会 (編) 『英語と日本語と』271-286. 東京：くろしお出版。
野呂健一 (2013) 「カテゴリー想起構文としての「Aか何か」」『日本認知言語学会論文集』13: 418-428.
高見健一 (1995) 『機能的構文論における日英語比較』 東京：くろしお出版。
富樫純一 (2000) 「言い換え後置分析と後置表現の認定」『日本語と日本語学』30: 13-31.